

# 会 議 録

## 1 会議名

第4回浦川原区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 報告（公開）

#### ア 会長報告

- ・市民と市長との対話集会「キャッチボールトーク」について
- ・大浦安地域協議会会長懇談会について

#### イ 委員報告

- ・中学生との意見交換会におけるフィードバックについて

#### ウ 市からの報告

- ・7月1日からの大雨による被害状況について

### (2) 協議（公開）

#### ア 自主的審議事項

- ・浦川原区の若者の暮らしにおける交通機関の利便性と安全性の向上について

#### イ 次回の開催日について

### (3) その他（公開）

## 3 開催日時

平成29年7月27日（木）午後6時30分から午後7時15分まで

## 4 開催場所

月影の郷 食堂

## 5 傍聴人の数

10人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：五十嵐広美、池田幸博、市村一雄、金子百合江、杉田和久、西山康博、藤田宏経会長、前島邦子、村松清、村松進副会長、和栗恵子副会長
- ・事務局：浦川原区総合事務所大坪所長、岩野次長、総務・地域振興グループ岩野グループ長、産業グループ山崎グループ長、建設グループ小林グループ長、市民生活・

福祉グループ五井野グループ長、市民生活・福祉グループ太田上席保健師長、  
総務・地域振興グループ飯野班長、宮川班長

## 8 発言の内容

### 【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・出席者は11人。欠席委員は福井委員。
- ・会議録の確認：金子百合江委員に依頼。

### 【藤田会長】

それでは、次第の「2 報告」の「(1) 会長報告」で2点ほど報告させていただく。

1点目は、市長とのキャッチボールトークについて、安塚を会場に開催された。浦川原区では末広地区の金井さんが出席しており、末広小学校の跡地の対応について質問されていた。市長からは、まだきちんと把握していないが、跡地利用はきちんとしなければならないということで、抽象的ではあるが回答されていた。

私の方からは、教育委員会へ大坪所長を通して調整をさせていただいている段階であり、現在、いくつかの案があって上越市立の支援学校をお願いしたいと申し出ていると、お話しさせていただいた。市の事情や教育環境の整備等もあり、一概に言い切ることはできないが、2番手、3番手の案もあるということを意見と併せて申し上げた。

2点目は、大島区の中村会長からの呼びかけで、6月22日に大浦安の地域協議会の会長と意見交換、会長会議を非公式ではあるが行った。毎年、大浦安で行っている研修会にどのような議題を挙げればよいかということをお話し合った。また、大浦安の正副会長での話し合いをするようにしていきたいといった話もあった。大浦安の研修会は輪番制でやっているわけだが、具体的には当番の区で原案を作って事務局を通していただくということをお話し合った。

これらについて、何か質疑があれば受けるが、いかがか。よろしいか。

(会場内から「はい。」の声)

次に、「(2) 委員報告」で委員の方から何かないか。なければ、中学生との意見交換会で先日バスを借りて浦川原の各地を回った報告を村松進副会長より報告いただく。

### 【村松進副会長】

7月11日（火）に中学生から浦川原の各地を見ていただいた。中学生29人と地域

協議会委員7人でバス2台に乗り、虫川大杉から始まり、顕聖寺、グリーンアート、山本ぶどう園、エー・エフグリーン、涌井農場、浦川原物産館と7か所ほど見学してきた。

7月12日の上越タイムスの紙面に載っており、生徒から「自分がわからなかったことがわかって良かった。」「将来自分も地域に残って貢献したい。」と言っていた。藤田会長も言われていたが、「若い方たちが良い発想を持っていることに気付かされた。」「浦川原をもっと知ってもらい、10年、20年後に活かしていただきたい。」といったコメントも載っている。また、7月15日の新潟日報の上越版では、地域の魅力再発見といった形で、生徒からは「虫川大杉の歴史や農産物の栽培の工夫など初めて知ることばかりで、こういった魅力を伝えるパンフレットを作り広く発信すると面白いと思う。」と書かれていた。

今回、地域協議会の委員と生徒の皆さんから各地を回っていただき、メロンの空中栽培など生産者の皆さんが努力して取り組んでいるということや自分の知らないことをお聞きして、最後に浦川原物産館へ寄ったときに、「うちのおばあちゃんが作った野菜が出ている。」「お父さんが作った酒が出ている。」という声があがった。あまり生徒の皆さんは物産館へ来たことがなかったと思われ、行って、見て、初めてスーパーとは違う。自分のじいちゃん、ばあちゃんが作った野菜が売られているということに「すごい。」という声が聞かれた。

実際に回ってみると、中学生の知らなかったこともあり、このフィードバックは良かったと思っている。今後は、体験などの学習といったものもあるが、皆さんと協議をしながらすり合わせていきたいと考えている。

#### 【藤田会長】

これについて、質問、意見はないか。よろしいか。

(会場内から「はい。」の声)

次に「(3) 市からの報告」をお願いする。

#### 【総務・地域振興グループ岩野グループ長】

1点報告させていただく。本日の配布資料になるが、7月1日からの大雨による被害状況の資料をお配りした。

7月1日の午前2時ごろから梅雨前線等の影響により、上越市内において雨が継続的に降り続き、7月1日の正午には板倉区に避難勧告が発表され、午後2時過ぎには合併前上越市や頸城区の一部にも避難勧告が発表された。今回の雨は、3日から4日にかけても吉川区や柿崎区で集中的に降り続き、避難指示や避難勧告が出された。

浦川原区では、7月1日の午前2時から午後4時までの間で、大島区、浦川原区、安塚区の雨量の観測地点で累計約100mmの雨が降ったことで、保倉川、小黒川の水位が上昇し、保倉川における顕聖寺水位観測地点で午前11時ごろに水防団待機水位を超えた。その後、1日の午後4時過ぎから2日にかけて雨が小降りになったことから、徐々に水位が下がり始め避難準備情報等の対応には至らなかった。

今回の雨による被害状況は、本日配布した資料をご覧ください。浦川原区の被害状況は、道路4件、農地3件、土砂災害1件の合計8件である。道路の被害としては、市道に土砂が流出したことによる通行止めが主なものであり、土砂の撤去により現在は4件とも対応済みである。農地は地権者と協議した結果、自力復旧で対応するという方向になっている。土砂災害については、宅地の法面が崩れたということで、民地ということもあり、地権者で自力復旧という対応になるということでお話しさせていただいている。

#### 【藤田会長】

これについて、何かご意見はないか。ないようなので、次に、「3 協議」に入る。「(1) 自主的審議事項」の「浦川原区の若者の暮らしにおける交通機関の利便性と安全性の向上について」資料1をご覧ください。

先ほど、村松進副会長からの報告もあったが、昨年度における中学生との意見交換を契機として、その後の地域協議会において様々な角度から審議してきた。これらを受けて、浦川原の交通網については前回の地域協議会において浦川原区の若者の暮らしにおける交通機関の利便性と安全性の向上について整理し、自主審議事項として位置付けて進めてきた。この件について、どのような審議の進め方をすれば良いか皆さんのご意見を伺いたいと考えている。皆さんから忌憚のない意見をお聞かせいただきたい。

浦川原区の交通機関の利便性と安全性ということであるが、たまたま、中学生と現地視察をしたときに、コンビニエンスストアとホームセンターの所で大型トラックとワゴンタイプの乗用車の衝突事故があった。

#### 【杉田委員】

この資料1に記載されている文章で皆さんの異議がなければ、これを発信するということであるとすると、この文章ではわかりづらいのではないかと感じる。これは自主的審議事項についての検討結果であり、単なる検討結果ではなく、浦川原区地域協議会の総意として、項目の1と2については是非とも実現させたいということであり、前文での末尾で市長に対する要請、要望の意思を明確にした方が良いのではないかと考える。例

えば、「市長におかれましても、下記の2項目に対して実現されるようにご配慮を要請します。」あるいは「お願いします。」等の文言を入れた方が良いと思う。

**【藤田会長】**

杉田委員から具体的な意見があった。これについては、正副会長において自主的審議を提出する素案が資料1となっており、皆さんの意見をいただきながら、修正するところを具体的に指摘いただき、完成させていきたいと思う。

(資料1を音読。)

これについて具体的な指摘があれば、修正、変更していきたいと考える。いかがか。

**【和栗副会長】**

1番目の「ほくほく線」の電車車両内のトイレ設置について、最後の部分で「次回の車両の更新時期などにあわせ」となっているが、現実的に次の更新時期はいつになるかははっきりわからないということで、時期についてのこの文言は載せなくてもいいのではないかと思われる。そして、2番目の信号機の設置については、最後のところで「設置者である警察に」となっているが、ここは公安委員会ではないかと思うが、いかがか。

**【藤田会長】**

確かにご指摘いただくと、そうかと感じる。車両は1、2年で更新されるわけではなく何十年も使用されるとお聞きしている。次回の更新となれば、ずいぶん先のことになる。そして、事務局へ確認したいのだが、信号機の設置は警察なのか公安委員会なのか、いかがか。

**【大坪所長】**

信号機の設置の窓口は所管する警察署であったと思う。警察署へ申請し、警察署が必要だと判断し認定すると、次に県の公安委員会へ提出され公安委員会が最終的に設置を認めるという手順になっていたと思う。ここに記載してあるように窓口は警察への働きかけで良いと思われる。ただ、間違いのないように調べていきたい。

**【藤田会長】**

この部分は、行政とすり合わせてやっていきたい。1番目の「次回の車両の更新にあわせ」で、という部分について、皆さんいかがか。

**【池田委員】**

杉田委員や和栗副会長の指摘もあり、1番目のほくほく線の車両の更新時期についてはわからないため、この文言を入れると事業者が逃げる口実になってしまう可能性があるため、この文言は省いて2番目の警察はこのままで良いということで、一番上に「要

望書」といった見出しを大きく付けて提出したらどうか。

**【藤田会長】**

提出する書類については「意見書」といった形の様式になっており、それに合わせていきたい。文章については案であり、今はこのようになっているが、皆さんの意見により内容を変えていきたいと考えている。具体的には以前に提出したものに合わせていきたい。

杉田委員、この文書を読んで具体的にどのような形にしたらよいかご指摘いただきたい。

**【杉田委員】**

藤田会長から意見書として専用の書式があると伺ったので、それでよろしいかと思う。自主的審議事項を浦川原区地域協議会がやって内容を淡々と述べるのではなく、ぜひ実現のためお願いすると、市長からも絶大なバックアップをお願いするということを明確にすれば良いということである。

1番目の車両の更新はそのとおりであり、この文言は不要である。また、2番目は窓口が警察ということで良いと思うが、設置者という文言であれば公安委員会だと思うので、警察ではないと思う。

**【藤田会長】**

これについては、良く調べて間違いのないようにしていきたい。他にないか。

**【前島委員】**

ほくほく線のトイレの件で、杉田委員も言われたが、私もいろいろな人から聞いていて、松代駅のトイレへ入ったら電車に乗り遅れたとか、私も孫を連れていて途中でトイレと言われて困ったことがあった。そういった困ったことを箇条書きなどして記載してもらえればもう少し切実に伝わるのではないかと考えるが、いかがか。

**【藤田会長】**

中学生との意見交換や、民間団体だが「在来線と地域のあり方を考える直江津・頸城の会」という活動団体がある。そこでのアンケート等を見たら、今のご指摘のような意見が多々出てきている。したがって、具体的な事例を積み上げて、中学生から出た意見もこの中に盛り込んでいく方向でいきたいと考える。付け加えると、その民間団体が県と話し合いをした際に、トイレのことは知らなかったそうである。初めて県は「そうなのか。」といった次第であり、トイレの要望は今まで一度も上がってきていないということのようである。

他にないか。ないようなので、今いただいたご意見を付け加えて正副会長と事務局ですり合わせを行い、意見書として市長宛てに提出するという事に賛同いただけるか。

(会場内から「はい。」の声)

それでは、満場一致で、ご意見を付け加えるとともに、文言の修正を行い、提出することにした。また、提出する時期についても検討し、次回の地域協議会で協議するか、出来上がったものを皆さんへ送付して確認をいただいた上で意見書として出すか、どちらかにしたいと思っている。それでは意見書を提出するという方向でご了解いただきたい。

それでは次の「(2) 次回の開催日について」で、8月30日(水)の午後6時30分から浦川原保健センターの多目的ホールで開催したいと思うので、日程の調整をお願いしたい。よろしいか。

(会場内から「はい。」の声)

次に、「4 その他」で何かないか。

それでは、第4回浦川原区地域協議会を閉じる。

## 9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : [uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp)

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。